



*Ideas & Chemistry*

2016.11.11

2016年度第2四半期  
決算説明会資料



東洋紡株式会社

# 決算のポイント

## 上期実績

- 営業利益は 107億円(1.5%増)にとどまり、当期純利益は減益
- アクリル繊維やバッグフィルター用PPS素材が、中国向けで苦戦。  
また、ブラジル繊維事業は、環境変化を踏まえ、休止を決定
- 一方、成長ドライバーの“コスモシャインSRF”は、大幅増収

## 通期予想

原料価格低下や新製品の拡大あるも、中国景気の影響など  
市場環境に不透明感あり、通期予想を下記の通り修正する

	15年度			16年度			直近予想 (2016/8)
	上期	下期		上期	下期	(億円)	
売上高	1,797	1,681	3,478	1,647	1,753	3,400	3,600
営業利益	105	126	231	107	123	230	250
特別損失	11	38	49	33	19	52	40
親会社株主に帰属 する当期純利益	54	48	101	37	63	100	130

## I . 2016年度第2四半期決算概況

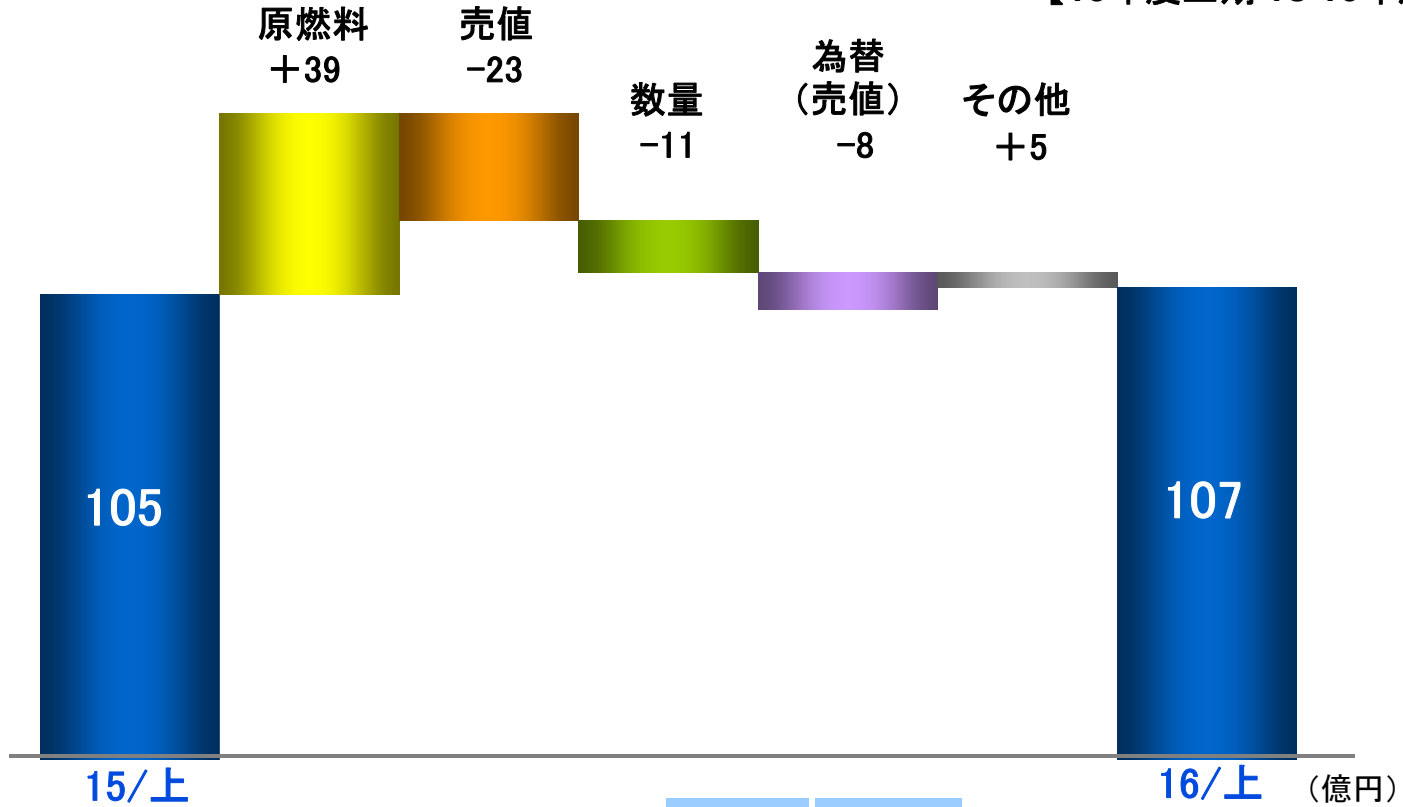
## (1) 決算概要 ①PL・CF

(億円)

	15上	15下	16上	前年同期比		直近予想 (2016/8)
				金額	率	
売上高	1,797	1,681	1,647	-150	-8.4%	1,700
営業利益	105	126	107	+2	+1.5%	120
(率)	5.8%	7.5%	6.5%	-	-	7.1%
経常利益	97	107	87	-9	-9.4%	110
特別損失	11	38	33	+22	+197.3%	40
親会社株主に帰属する 当期純利益	54	48	37	-17	-31.7%	60
EPS(円)	6.0	5.4	4.1	-	-	
減価償却費	71	73	73	+2	+2.9%	
設備投資	73	100	78	+5	+7.4%	
営業CF	129	194	106	-23	-17.9%	
為替レート(円/US\$)	122	118	105			
国産ナフサ価格(千円/KL)	48	38	32			

# 営業利益増減要因分析（前年同期比）

【15年度上期 vs 16年度上期】



	15上	16上
円レート (¥/\$)	122	105
国産ナフサ (千円/kl)	48	32

## ②BS

	15/3末	16/3末	16/9末	(億円) 16/3末比 増減
総資産	4,658	4,446	4,439	-7
現預金	206	203	280	+77
棚卸資産	824	753	729	-24
純資産	1,611	1,601	1,586	-15
自己資本	1,580	1,569	1,555	-14
(利益剰余金)	325	395	401	+6
(為替換算調整勘定)	-75	-107	-124	-16
非支配株主持分	31	32	31	-1
有利子負債	1,771	1,654	1,734	+80
D/E レシオ	1.12	1.05	1.11	

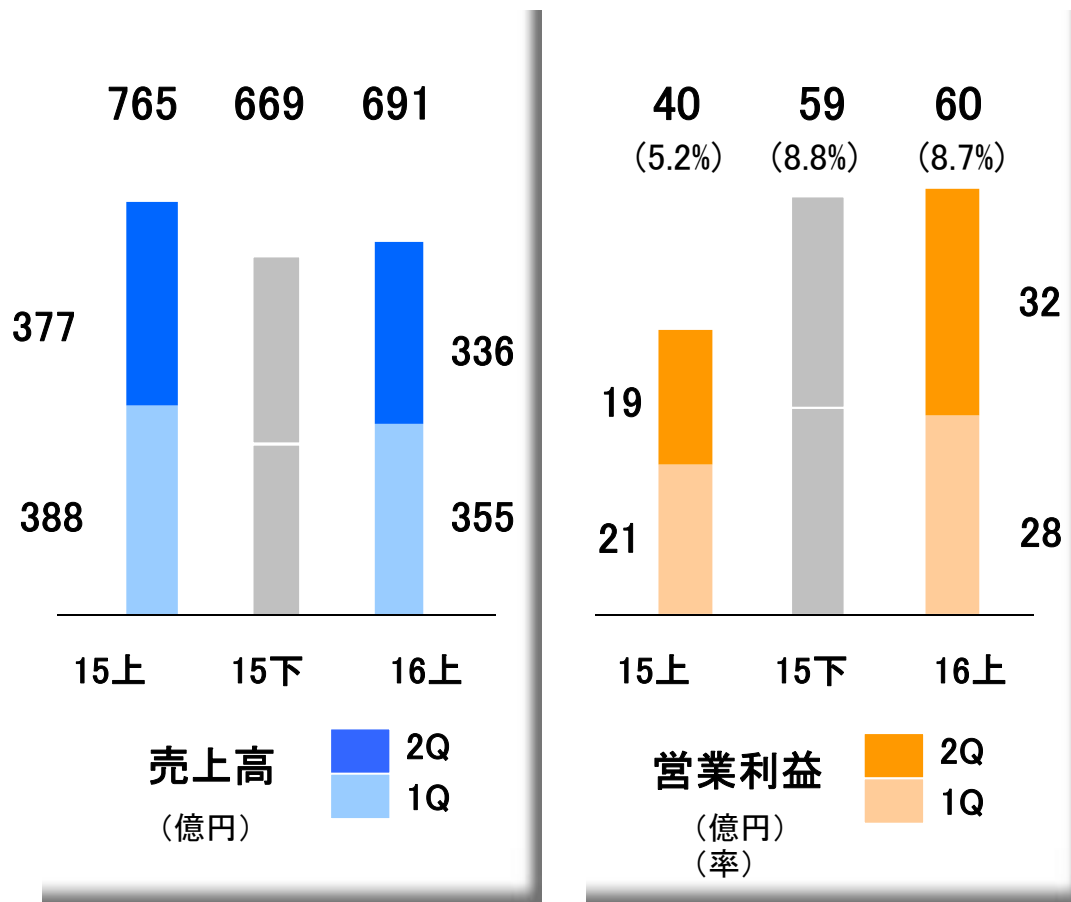
## (2) セグメント別

(億円)

	売上高			営業利益			前年同期比
	15上	15下	16上	15上	15下	16上	
フィルム・機能樹脂	765	669	691	40	59	60	+20
産業マテリアル	353	352	324	32	30	20	-12
ヘルスケア	135	143	145	21	26	19	-2
繊維・商事	438	416	398	12	13	4	-7
不動産・その他	105	101	89	15	14	17	+3
消去・全社	-	-	-	-15	-17	-15	+0
合計	1,797	1,681	1,647	105	126	107	+2

## ① フィルム・機能樹脂

包装用フィルムは、原燃料価格下落を受け減収  
工業用フィルムは、製品ポートフォリオ改革進む



## ● 包装用フィルム

- ・需給バランス堅調
- ・生産設備の最適化進む

## ● 工業用フィルム

- ・コスモシャインSRFは、大手偏光板メーカーへ出荷拡大

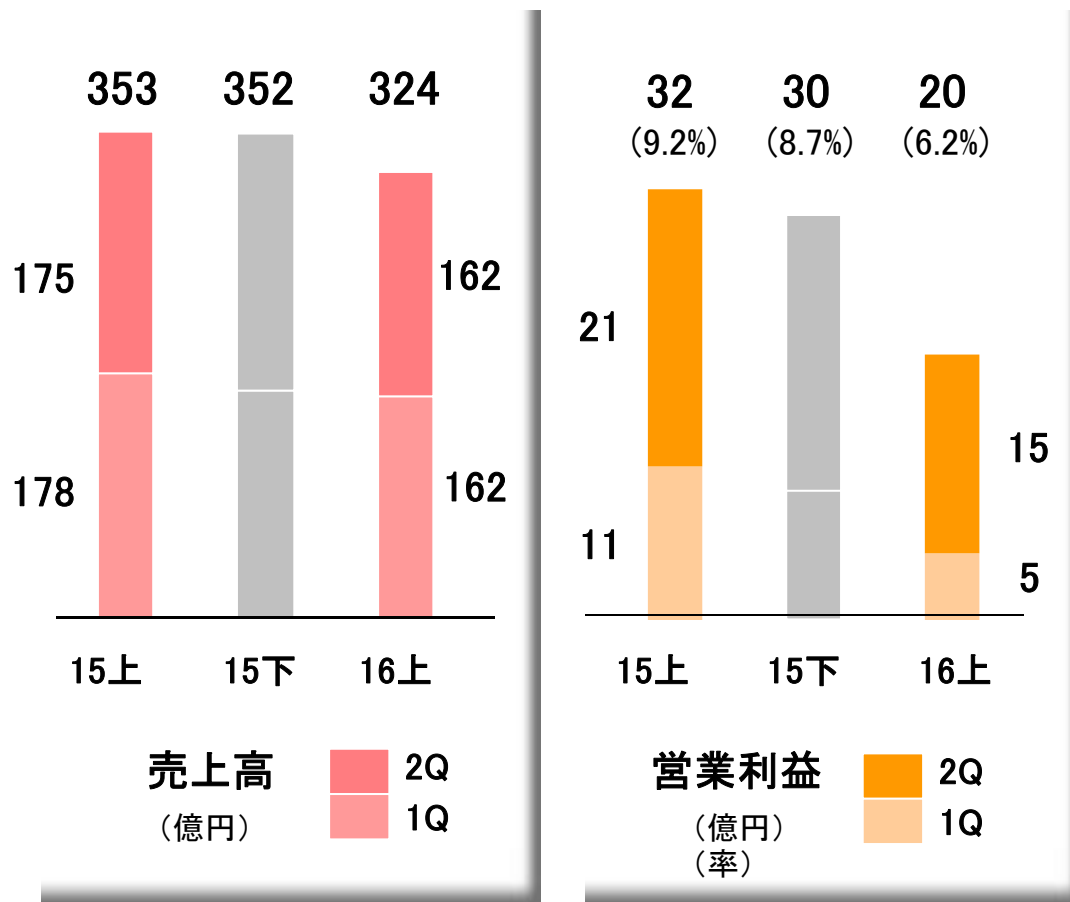
## ● 機能樹脂

- ・ハードレンは、自動車塗料・インキ用途で販売好調
- ・エンブラは、海外で数量増



## ② 産業マテリアル

スーパー繊維は堅調。エアバッグ用基布は、海外展開準備進む  
 バグフィルター用PPS素材が、中国向けで苦戦



## ● スーパー繊維

・イザナスは、ロープ・釣り糸用途が堅調

## ● 機能フィルター

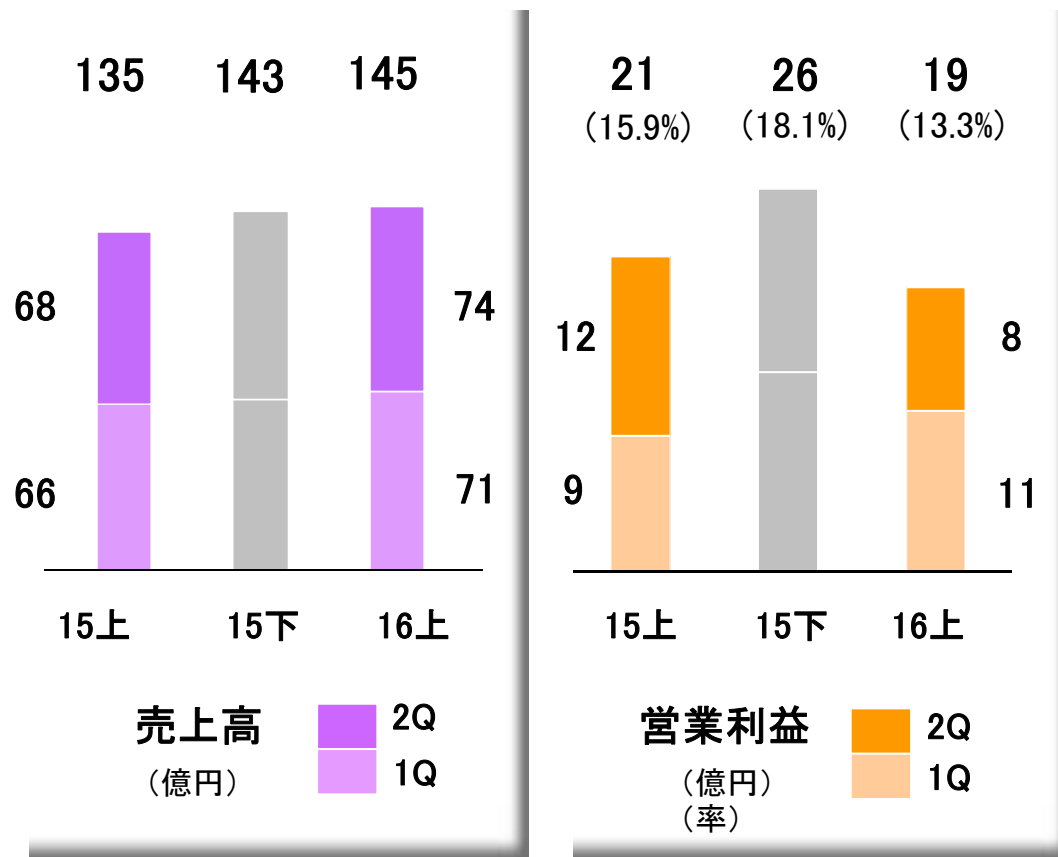
・VOC処理装置は、ユーザーの設備投資遅れの影響を受ける

## ● エアバッグ用基布

・世界四極供給体制の整備進む

## ③ ヘルスケア

バイオ事業は、出荷堅調も為替の影響大  
機能膜事業は、中東での受注遅れ



## ● バイオ

- ・診断薬用酵素は為替影響あり
- ・ライフサイエンス試薬・診断システムは、好調

## ● 医薬

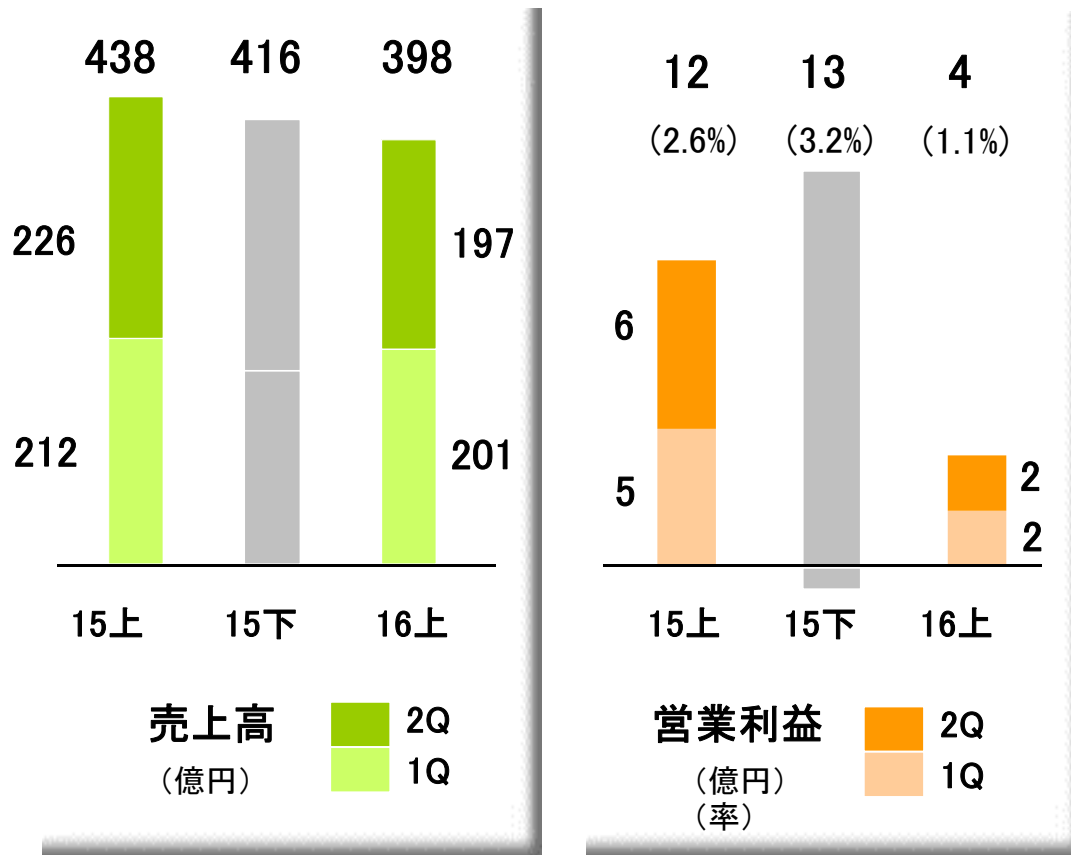
- ・医薬品製造受託は、回復傾向

## ● 機能膜

- ・アクア膜が中東での受注遅れ

## ④ 繊維・商事

中東向けトープは、数量拡大も為替の影響あり  
 アクリル繊維は、中国のアンチダンピング政策を受け苦戦



## ● 東洋紡STC(繊維)

- ・中東向けトープは、数量増も為替の影響あり

## ● アクリル繊維

- ・中国市況の軟化に加え、アンチダンピング政策の影響あり

## ● ブラジル繊維事業

- ・環境変化を踏まえ休止決定

## Ⅱ. 2016年度業績予想

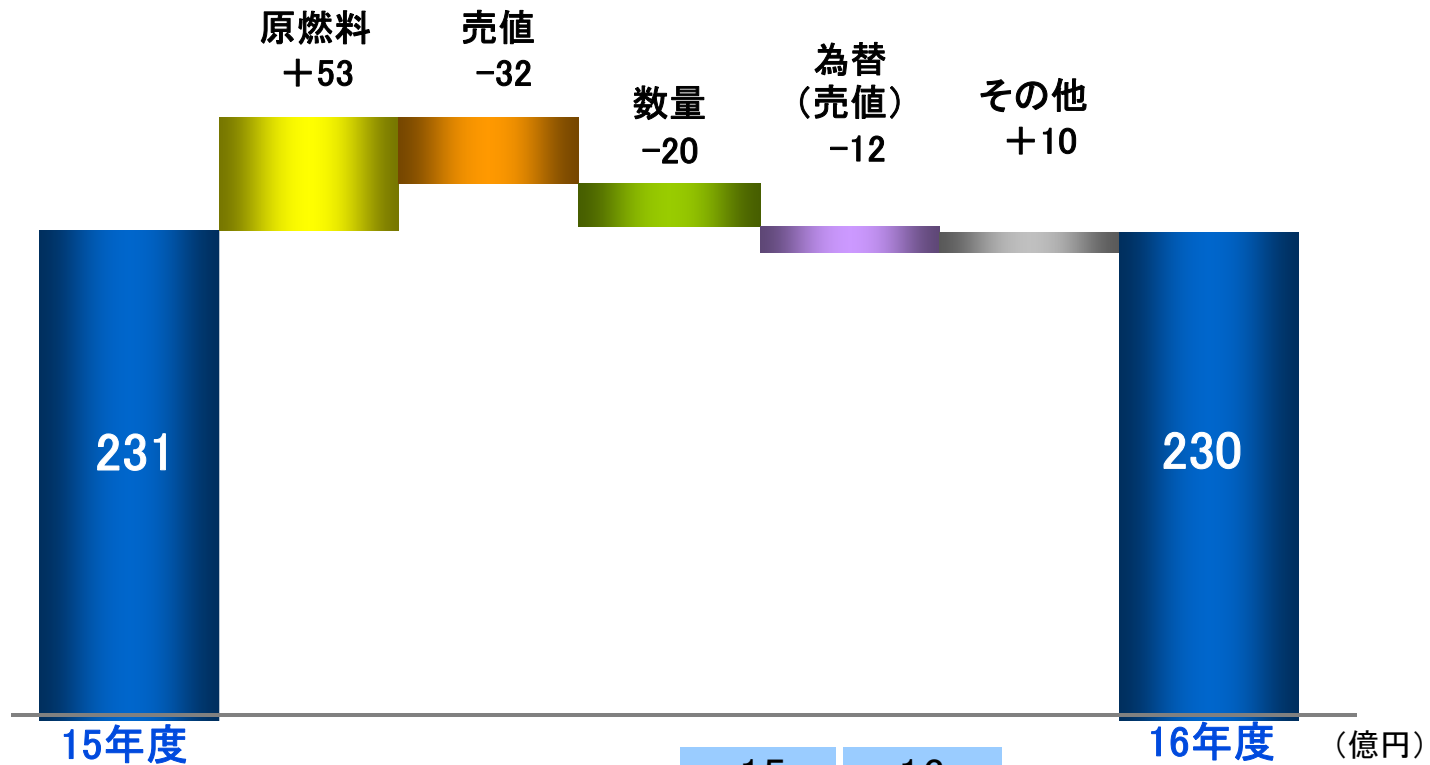
(1) 業績予想

(億円)

	15年度実績	16年度予想			増減		直近予想 (2016/8)
		上	下		金額	率	
売上高	3,478	1,647	1,753	3,400	-78	-2.2%	3,600
営業利益	231	107	123	230	-1	-0.5%	250
(率)	6.6%	6.5%	7.0%	6.8%	-	-	6.9%
経常利益	204	87	113	200	-4	-1.9%	230
特別損失	49	33	19	52	+3	+6.8%	40
親会社株主に帰属する 当期純利益	101	37	63	100	-1	-1.5%	130
EPS(円)	11.4	4.1	7.1	11.3	-	-	14.6
減価償却費	144	73	77	150	+6	+3.9%	150
設備投資	173	78	102	180	+7	+3.8%	180
為替レート(円/US\$)	120	105	103	104			115
国産ナフサ価格(千円/KL)	43	32	33	32			43

# 営業利益増減要因予想

【15年度→16年度】



	15	16
円レート (¥/\$)	120	104
国産ナフサ (千円/kl)	43	32

(2) セグメント別予想

(億円)

	売上高				営業利益				直近予想 (2016/08)
	15年度	16年度予想			15年度	16年度予想			
		上期	下期			上期	下期		
フィルム・機能樹脂	1,434	691	733	1,424	99	60	65	125	115
産業マテリアル	705	324	346	670	63	20	33	53	69
ヘルスケア	277	145	147	292	47	19	26	45	52
繊維・商事	855	398	409	807	25	4	4	8	18
不動産・その他	206	89	118	207	28	17	13	31	28
消去・全社	-	-	-	-	-32	-15	-17	-32	-32
合計	3,478	1,647	1,754	3,400	231	107	123	230	250

## コンプライアンスの徹底



(渋沢栄一揮毫)

- 「順理則裕」(りにしたがえば、すなわちゆたかなり)
- 当社グループは、「順理則裕」の企業理念のもと、「順理」すなわち「道理に従って、合理的・論理的に考え、行動すること」を基本姿勢としています。

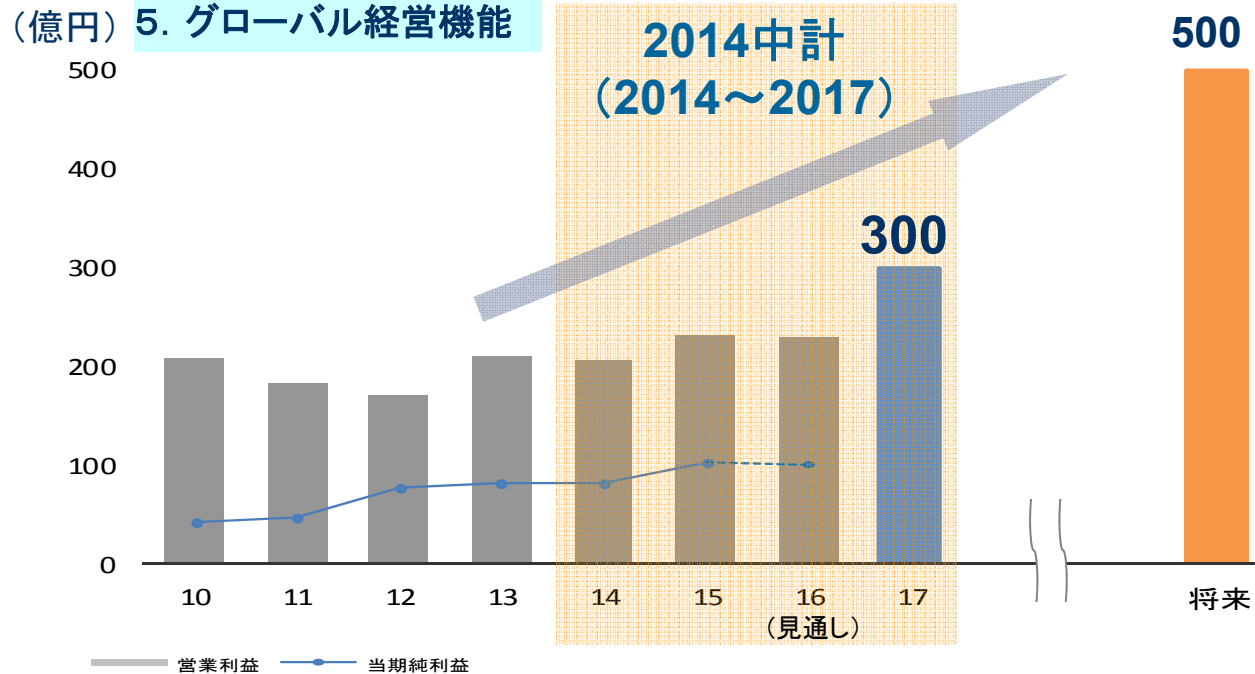


### Ⅲ. 2014年中計進捗

# 2014中計の位置付け

## 将来のめざす姿（売上高5,000億円・営業利益500億円）への成長軌道に乗せるための中計

- 1. 海外展開
- 2. 新製品
- 3. 競争力強化
- 4. 資産効率
- 5. グローバル経営機能



(億円)	
2017 中計目標	
売上高	4,200
営業利益 (益率)	300 7.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	140
ROE	8%
D/E(倍)	<1.0

# アクションプランの進捗

## 1. 海外展開加速

### ■ エアバッグ基布

- ・ PHP買収を軸にグローバル展開
- ・ タイ、中国、米国の拠点整備
- ・ 17年度からの本格拡大に向け、体制強化



### ■ エンジニアリングプラスチック

- ・ 米国、中国他で自動車向け拡販
- ・ 海外販売数量 5.7%増
- ・ インド市場も視野に



## 2. 新製品の拡大・創出

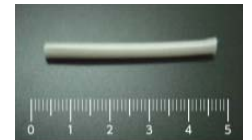
### ■ 超複屈折ポリエステルフィルム “コスモシャイン SRF”

- ・ 偏光子保護フィルムとして展開
- ・ 低透湿性、ハンドリング性に優位性
- ・ 大手向け中心に売上は2.4倍増



### ■ 神経再生誘導チューブ “ナーブリッジ”

- ・ 国内では使用施設数、適用症例数で実績
- ・ FDA承認を取得 海外販売パートナー選定へ



## 3. 競争力強化

### ■ タイヤコード事業からの撤退

### ■ ポリエステルチェーン改革

- ・ ボトル用樹脂、ポリエステル原料(PTA)の事業撤退

### ■ 大型フィルム製造設備の安定稼働

- ・ 包装用と工業用の両方に対応する“多目的型”
- ・ フィルム事業を支える高効率製造設備として安定稼働中



## 重点拡大分野 ～成長のための布石～

### ■ 再生誘導材料

- 骨再生誘導材 ～骨欠損部に埋入、骨の再生を誘導～
  - ・ リン酸オクタカルシウム・コラーゲン複合体
  - ・ 歯科口腔外科領域で治験進捗
  - ・ 製造販売承認申請を経て、2018年の製品化をめざす



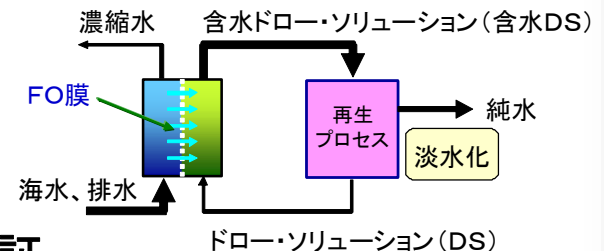
### ■ フィルム海外展開

- 高機能包装用フィルム
  - ・ シュリンクフィルム
  - ・ バリアフィルム
  - ・ 他社との協業も視野に



### ■ 分離膜

- FO膜(正浸透膜) ⇔ RO膜(逆浸透膜)
  - ・ 自然現象を利用する省エネ型システム
  - ・ 海水淡水化、浸透圧発電に利用
  - ・ 世界各地の実証試験で進捗、当社膜の優位性検証



## ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社

補 足

# 訴訟関連

## <概要>

- ① 03年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故:1件)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、  
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起

## <解決済みの訴訟—いずれも和解による解決>

- ・購入者からの集団訴訟—2005年10月
- ・事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)—2006年から2007年
- ・ドイツ州政府からの訴訟—2009年2月
- ・防弾ベストメーカーからの訴訟—2011年7月(2件)および2012年3月

## <訴訟状況>

(2015.11.5現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		防弾ベストメーカー			政府関係
原告	購入者	警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブラック	ファーストチョイス	ドイツ州政府
状況	和解成立 (05年10月)	和解成立 (06~07年)	訴状受取後 動きなし	証拠開示 手続済	和解成立 (11年2月)	和解成立 (11年7月)	和解成立 (12年3月)	和解成立 (09年2月)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件	1件	1件